

脳死肺移植

岡山大で終了

50代男性に

岡山大病院（岡山市北区鹿田町）で13日、50代男性への左肺の脳死移植手術が行われ、無事終了した。同病院によると、約3カ月で退院できる見込みという。

手術は臓器移植医療センターの大藤剛宏教授が執刀。午前10時19分に始まり、約5時間半後の午後3時54分に終わった。男性は呼吸障害を引き起こすアルファ1アンチトリプシン欠損型肺気腫を患い、症状悪化に伴い2015年7月、日本臓器移植ネットワークに登録していた。

ネットワークによると、ドナー（臓器提供者）は静岡県内の病院に脳血管障害で入院していた30代男性。岡山大病院の脳死肺移植手術は69例目、生体と合わせて147例目。

（秋山昌三）

（C） 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。